



シルバー かもがわ



編集/発行 公益社団法人鴨川市シルバー人材センター  
鴨川市八色866 (鴨川市福祉センター内)  
電話・FAX 04-7093-0124  
メールアドレス・kamogawa@sjc.ne.jp

## 令和2年度定時総会で令和元年度事業報告・決算報告を承認 年間契約金額57,520千円

令和元年度の事業報告、決算報告を審議する「令和2年度定時総会」が、5月25日(月)午後2時から、福祉センター1階の談話室で開催されました。今年度の定時総会は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発出中であり、いろいろな制約の中、多くの会員が一堂に会することなく、定時総会の成立を期す方策として、全国シルバー人材センター事業協会の提案もあり、会員の皆さんには、出来るだけ代理人による議決権の行使をお願いしたところです。皆さんには大変ご迷惑をおかけしましたが、多くの会員の皆さんのご理解をいただき、総会を成立させることができました。この紙面を通じ御礼を申し上げます。

なお、総会は、会員総数213名のうち当日の出席者8名、委任状の提出者145名、合計153名で、会員総数の2分の1以上の定足数に達し、議長に野村利雄会員、議事録署名人に川名弘一理事と太海地区の野口俊行会員を選出して議事が進められました。

### 支払配分金51,538千円

議案第1号「令和元年度事業報告」では、契約金額57,520千円で、会員への配分金51,538千円が報告されました。

その他年間受託件数は1,706件、就業延べ

人員は10,807人でした。

契約の内訳は、公共事業14,373千円(25.0%)、民間事業所19,184千円(33.3%)、一般家庭23,963千円(41.7%)でした。

本シルバー人材センターも会員数が減少する傾向にあり、就業する会員の不足により、お客様の要望に応えきれない状況となっておりますので、会員の皆さんには会員確保へのご協力もお願いします。

### 令和元年度決算報告

議案第2号「令和元年度決算報告」では、会員皆様の就業による受託事業収入57,520千円、会員からの会費314千円、国庫補助金7,100千円、鴨川市補助金7,100千円等で経常収益計72,034千円が報告されました。

支出は、就業会員へ支払った配分金51,538千円、材料費等1,292千円等の経常費用計72,467千円となりました。

なお、財産目録では、資産合計が10,845千円、負債合計が3,169千円となり資産合計額から負債合計額を差し引くと、7,675千円が令和2年3月31日現在の正味財産となります。

受託事業収入は減少傾向にありますが、今後も、委託業務の完全施工を実施することで、これまで以上にシルバー人材センターの評価と信頼を高め、就業機会の拡大や会員の増加に繋げるようお願いいたします。

## 熱中症に注意

新型コロナウイルスの出現に伴い、今後は、一人ひとりが感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の対策を取り入れた『新しい生活様式』を実践することが求められています。十分な新型コロナウイルス感染症予防を行いながら、熱中症予防にもこれまで以上に心がけるようにしましょう。

会員の皆さんには、就業中において、頭痛、吐き気、めまい、立ちくらみ、手足のしびれ等の症状が出たら、仕事を中止して、症状が重い場合には、病院にかかってください。

また、当センターでは、熱中症見舞金制度に加入していますので、熱中症と診断された場合は、事務所への連絡をお願いします。

### 《熱中症予防行動のポイント》

#### 「新しい生活様式」における熱中症予防のポイント

- 気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。このため、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクをはずすようにしましょう。
- マスクを着用する場合には、激しい運動や作業は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心掛けるようにしましょう。周囲の人との距離を十分とれる場所で、適宜、マスクをはずして休憩をとりましょう。
- 新型コロナウイルス対策のためには、冷房時でも窓開放や換気扇によって喚起をしつ

つ、エアコンの温度設定をこまめに調整しましょう。

- 日頃の体温測定、健康チェックは、新型コロナウイルス感染症だけでなく、熱中症を予防する上でも有効です。体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養しましょう。

## 会員の募集

公益社団法人鴨川市シルバー人材センターでは、随時会員の募集を行っております。特に草取りや大作業の出来る会員が不足しており、お客様の希望に添えず迷惑をお掛けしているのが実情です。市内在住でおおむね60歳以上の健康で働く意欲のある方が、ご近所やお知り合いで居られたら、ぜひ、入会されるようお願い下さい。

## 街頭広報活動を実施

令和2年2月28日、会員募集及び事業拡大のため、ベイシア店頭で、街頭広報活動を実施しました。当日は、役員及び事務局職員合わせて10人全員が、シルバーの赤い半纏を羽織り、チラシや広報用品を配布しました。広報効果もあり、現場はもちろん、事務所へも入会や仕事の依頼の問い合わせが多く寄せられました。今後も頻繁に実施したいと考えています。



## 老人クラブと友好協力協定締結

当シルバー人材センターは、令和2年3月13日、鴨川市老人クラブ連合会と友好協力協定を締結しました。当日は、鴨川市の鈴木福祉課長の臨席をいただき、両団体からは、会長、副会長が出席しました。

今後、同じ高齢者の団体として、会員の減少など共通の課題に対し、相互に関わり合いを持ちながら支え合い、生きがいをづくりや社会参加の促進のほか、両組織の活性化が図れればと考えます。



## 親睦旅行

秋の深まりが感じられた、令和元年11月10日の日曜日、33人が参加し、恒例の会員親睦旅行が実施されました。

今回は、栃木県の宇都宮市、栃木市方面でした。宇都宮市では、約70年間に渡り大谷石の切り出しで生まれた巨大地下空間を大谷資料館で見学し、栃木市では、蔵の街を散策しました。また、旅行の一番の楽しみでもある昼食は、餃子の街として有名な宇都宮市で宇都宮餃子を満喫しました。



## 就業中の事故ゼロを目指して

今年度も次の10か条を守って、就業中の事故を無くしましょう。

### 【みんなで守ろう10か条】

- 安全第一を心掛け、急いだり、あわてたりしないこと。
- 器具類は、使用する前に必ず点検する。
- 服装及び履物は、業務に適したものにすること。
- 就業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- 高齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理はしないこと。
- 作業現場は、常に整理整頓を心がける。
- 共同事業では、合図及び連絡は、正確に行うこと。
- 酒気を帯びての就業は、絶対しないこと。
- 健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。
- 就業の前日は、十分睡眠をとるように心掛けること。

## 会費納入のお願い

事務局からのお願いです。

会費をまだお支払いいただけてない会員は、至急納入をお願いします。

ご承知のとおり、当シルバー人材センターの事業運営は、国及び鴨川市からの補助金並びに会員の皆様からの会費などにより行っており、会費の2,000円は、毎年度5月末日までに納めていただくことになっておりますが、一部会員の会費が未納となっております。

つきましては、貴方様の会費の納入につきまして、今一度ご確認をお願いします。

なお、忘れていた方は、シルバー人材センター事務所までお持ちいただきますようお願いいたします。

## 「女性のつどい」開催

女性会員を増やし、女性ならではの経験や感性を生かすことのできる就業を開拓することを目的に、前年度に引き続き「女性のつどい」を開催しました。今回は、鴨川市健康推進課職員に講師をお願いし、「高齢における健康づくりと食生活」と題した講習会を開催しました。

当日は、鴨川市老人クラブ女性会員、シルバー女性会員、その他会員以外を含め22名の参加がありました。ありがとうございました。

今年度も新たな企画で開催を予定していますので、多くの女性会員の参加をお願いします。



## 交通事故防止について

### ■ 歩く時の注意

#### ◆ 車の直前直後の横断は危険

車はブレーキをかけてもすぐには止まれません。横断する前に必ず左右の安全を確かめましょう。

◆ 信号無視や横断歩道以外の横断は危険  
信号を守り、横断歩道を利用し、横断中も左右の安全を確認しましょう。

### ■ 自転車に乗った時の注意

◆ 信号無視や一時停止の見落としは危険  
一時停止のある交差点や見通しの悪い交差点では、必ず一時停止をして左右の安全を確かめましょう。

#### ◆ 夜間の無灯火は危険

夜間はライトを必ず点けましょう。

### ■ 車やバイクを運転する時の注意

◆ 交差点での一時停止の見落としは危険  
信号の無い交差点や見通しの悪い交差点では、徐行または一時停止をして左右の安全確かめましょう。

#### ◆ 漫然運転は危険

運転中は脇見などせず、進路前方をよく見て運転し、車間距離も十分とりましょう。

### <会 員 数>

(人)

	男	女	合計
鴨川地区	73	26	99
長狭地区	36	9	45
江見地区	31	9	40
天津小湊地区	28	1	29
合計	168	45	213

令和2年4月10日現在



## 編集後記

人は何のために働くのか。食べるため、何か欲しいものを買うため、生きていくため、家族のため、社会・国のために働くなど、答えはいろいろでしょう。いずれにしても、人は何かのために働いています。作家山本有三は、働くことを「はたを楽にする」と表現しました。「はた」とは、「傍（側）」です。

高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことがシルバーの目的です。

誰かを楽にしてあげるため、誰かを喜ばせるため、地域社会に貢献するために働くとき、その苦勞も報われるというものです。